

会 報

第150号
(2002年1月)



関西ハーモニカ連盟

KANSAI Harmonica Association

関西ハーモニカ連盟
会報 第150号(2002年1月号)

発行部数 350 毎年4, 7, 10, 1月に発行(送付はそれぞれ前月中下旬)

関西ハーモニカ連盟 組織 2001/10月末日現在

理事長 仲村 眞 〒545-0005 大阪市阿倍野区三明町2-6-10
☎06 6624-5606 FAXも同じ

副理事長兼事務局長

田中 祥雄 〒610-1127 京都市西京区大原野上里鳥見町14-20
☎075 331-1033 FAXも同じ

副理事長兼編集局長

吉村 則次 〒591-8008 堺市東浅香山町3-104-5-201
☎072-251-9398 FAXも同じ

事業部長 飛田 保雄 〒611-0031 宇治市広野町寺山17番地の79
☎0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

研修部長 白鳥 達夫 〒577-0842 東大阪市大蓮東2-9-12
☎06 6728-7951

組織部長 大石 喜一郎 〒567-0074 茨木市新郡山2-31-35
☎0726 41-2087 FAXも同じ

会計部長 後藤 貞男 〒596-0005 岸和田市春木旭町36-17
☎0724 41-0552 FAXも同じ

会計監査 織田 太郎

常任顧問 酒井涼爾、吉森正隆、平口謙二、板村忠重

特別顧問 森本恵夫、齋藤壽孝、徳永延生、和谷泰扶

部長・局長を除く常任理事とその担当(五十音順)

新井善久(事務)、今井康郎(編集)、入江章次(編集)、岡村貞彦(組織)、楠 陽児(編集)、
筒井松太郎(事業)、寺村安雄(事業)、村上浩一(研修)、村田 潤(会計)、吉見 治(編集)、
吉見 忠(編集)

理事(五十音順)

青木聰、新井尚子、姉川敏彦、井上純一、梅田恒弘、金川一、神戸栄一郎、木谷悦子、
久保田隆、小林由美子、田代敏胤、谷口昌子、出村佳津男、中川敬一、中西康四郎、
嵯崎義男、西田幸司、西本豪介、畑婦美子、梁木 進、吹上晴彦、藤本勇、保理江元子、
松川義明、宮本一男、村上博昭、もり・けん、山村信彦、渡辺 昇、和谷篤樹

入会のご案内 組織部長

入会費1000円、年会費(1-12月)個人会員5000円、地域外個人会員5000円、
賛助会員(業者)10000円

ハーモニカが好きなかたなら、吹くかた吹かないかた、上手なかた下手なかた、上手に
なりたいかた、ニュースだけほしいかた、どなたでも入会できます。関西地区以外のかた
は「地域外個人会員」となります。入会金と年会費をお近くの郵便局から次の指定振替
口座に振り込みください。振込払込票の通信欄に「入会申込」と記入してください。
会員名簿(氏名、住所、電話番号)は公表いたします。

郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟

9月までに途中入会の方には、当年度(4月号以降)のバックナンバーをお送りします。
10月以降入会のかたは、特に申し出がない場合は、翌年度入会の取り扱いとなります。

本誌では、特別顧問を除く会員の敬称を省略しております。ご了承ください。

関西ハーモニカ連盟 会報 2002/1月号 目次

表紙 ファタ・モルガーナ・カルテット(オランダ)(2001/10/25ドイツでの世界大会にて)
裏表紙 ハーモニカ 編集局

当連盟定期総会(2002/1/14)招集通知	理事長 3
2002年を迎えて～～(併せ、常任理事飛田保雄の勳五等受賞を祝う)	理事長 4
ハーモニカ・カレンダー(行事の実績と今後の予定)	編集局 5
2002年会報発行予定表	編集局 8
写真ニュース =関西ハーモニカ祭り、各コンサート等=	編集局 9
1～3月研修会のお知らせ	研修部 18
とっておきの話[23]間違っていませんかあなたの練習法 特別顧問	森本 恵夫 19
ハーモニカが上達する為の大切なこと(Ⅶ)	池田 輝樹 21
クロマチック・ハーモニカ・セミナーを開催 ウッドバレイ主催	木谷 悦子 22
スクラップ・ブック 特別顧問徳永延生氏がブルーノートにデビュー 大東市Hアンサンブル、尾路進、あつぎサマーフェス等	編集局 23
関西ハーモニカ祭りの反省意見	事務局長 27
第6回たのしいサマー・コンサートに参加して	田口 幸輝 28
なにより練習が大切である――井上圭子氏の話――	吉村 則次 29
ホンコンでのアジア太平洋大会は2004/8/4(水)～8(日)!!	編集局 30
北九州ハーモニカコンサート	編集局 30
思い出のハーモニカ旅行～岡城跡で「荒城の月」～	高阪他美子 31
ハーモニカコンテストの奇々怪々	吉村 則次 33
イツ・ア・スモール・ワールド(世界H大会に参加して)	吉村 則次 35
世界コンクール3位入賞ご挨拶	吉村 則次 36
新しいCD	吉村 則次 37
大阪クロモニーがクロモニージャパンに	出村 佳津男 37
堺市のヤマハでクロマチックの個人レッスン開始	吉村 則次 20
DTM同好会開催案内	大石 喜一郎 38
会員異動のお知らせ	組織部 38

同封物

当連盟定期総会出欠回答はがき(事務局)

当連盟年会費請求書、同振り込み用紙(会計部)

日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会主催コンサートの出演応募要領及び申込書

同 返送用封筒

大石昌美リサイタル(2002/3/15)のチラシ

(各ハーモニカ団体のみ)香港でのアジア太平洋大会のチラシ

連盟会員各位

関西ハーモニカ連盟

平成14年度“定期総会”招集ご案内

関西ハーモニカ連盟

理事長 仲村 眞

担当 事務局長 田中 祥雄

TEL・FAX 075-331-1033

次の通り、当連盟平成14年度定期総会を開催しますから、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

1. 日時 平成14年1月14日(祭日) 午後3時より **定期総会**
尚、総会に先立ち午後1時より**理事会**を開催します。
(理事の方は必ずご出席願います。)
2. 場所 大阪市西区江戸堀1-15-30 北京料理 **徐園**
最寄駅 地下鉄四ツ橋線 肥後橋駅下車(地図参照)TEL06-448-5263番
3. 議題
 - ① 平成13年度事業報告の件
 - ② 平成13年度収支決算の件
 - ③ 役員(理事)全員改選の件
 - ④ 平成14年度事業計画承認の件
 - ⑤ 平成14年度予算案承認の件



尚、総会に欠席の方で特に異義の申し出のない人は、一切を理事長に委任したものと見なします。

総会終了後、同じ場所で懇親会を持ち交流を図りたく思います、ご出席下さい。

(午後5時頃の予定) 懇親会の会費 6,000円 当日徴収します。

出・欠は同封回答ハガキにて、12月28日(金)までにご回答下さい。

理事会は、理事以外の会員の方も自由に傍聴は出来ます。

2002年を迎えて

(飛田保雄氏の叙勲を祝う)

理事長 仲村 眞

新しい世紀を迎えたばかりの昨年の1年は、相変わらずの不況に加え、後を断たない詐欺や横領、増え続け凶悪化している外国人や若者の強盗や殺人事件、そして9月11日の米国に於ける戦慄すべき同時多発テロ事件と再燃したアフガニスタンの戦火など、決して希望の持てるような新世紀の始まりでは無かったように思います。

しかしながらハーモニカの世界では、年々愛好者は増え続け、私共関西ハーモニカ連盟においても正会員数は昨年11月中旬には265名となり、公民館や教室、各グループの愛好者も加えると関西地方での愛好者は1000人は下らないであろうと考えます。

そんな折も折、昨年11月3日の新聞報道で、明るいニュースが“飛”びこんできました。

当連盟の常任理事・事業部長の飛田保雄氏が秋の叙勲で「勳五等双光旭日章」を受賞されたのです。氏の宇治市の元市会議員として、教育、地方自治、産業振興、伝統工芸の分野で長年にわたる功績が評価された為だそうです。直接ハーモニカに関係した事では無いにしろ、氏の長年にわたる巾広いご活躍の中にはハーモニカへの情熱も含まれている事ですし、いずれにしてもハーモニカ仲間として大変喜ばしい事でもあります。本当におめでとうございます。今後も氏の益々のご活躍を期待するところです。

さて、お陰様をもちまして昨年は最大行事の関西ハーモニカ祭りも含め諸行事も滞りなく終了いたしました。

これも皆様の多大なご協力、ご鞭撻の賜と存じ、心より御礼申し上げます。

近年、ハーモニカに情熱を持ち、有能かつ有力な方々が次々と当連盟に入会して来られ、年を追う毎に会員の増加とより充実した組織運営が為されるようになってきました事は、長年活躍されあるいは指導されていた方々の何人かが亡くなり、又は退いて行かれたにも拘わらず、私共には新しい希望を持たせ、頼もしく感じられます。

本年度は、第4回西日本ハーモニカコンテストを控え、また我が国で初のアジア大会が、神奈川県厚木市で開催予定です。

もはや、一日で終了するには限界になった関西ハーモニカ祭りへの対応もあります。

どうぞ本年も益々のご協力、ご鞭撻を下さいますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



==ハーモニカカレンダー==

スペースをセーブするため、ハーモニカをHと表示しています。
当連盟会員の敬称は、省略しております。

編 集 局

- 8/17 金 H金曜日 堺市新家町カラオケスタジオ「アンディ」梁木進、吉村則次等
25名参加 写真参照
- 8/19 日 エコーズ・グリーン・六甲 合同発表会 日本H芸術協会神戸支部等主催
神戸市六甲アイランド 神戸ファッション美術館オルビスホール 出演数57 写真参照
- 8/19 日 姉川敏彦 近鉄草津・ふれあいコンサート 姉川敏彦+ドラゴン7
- 8/24 金 H振興会主催 研修会 大阪府立文化情報センターさいかくホール
- 9/1 土 ソフィア堺Hアンサンブル、吉村則次、梁木進、笹山恵司等
中辻直美教室発表会でゲスト演奏 堺市、リーガロイヤルホテル堺 写真参照
- 9/7 金 京田辺H同好会、普賢寺小学校祖父母参観で女性合唱団と共に演奏
- 9/9 日 梁木進、吉村則次、p中辻直美 堺市ハーベストの丘 屋内ホールで演奏
- 9/9 日 もり・けん 朝日カルチャー日曜サロン Hサロン
- 9/15 祭 吉村則次、堺市ハーベストの丘屋外ステージでビッグ・バンド「ZAZA」と共に
- 9/15 祭 姉川敏彦 大津市中央公民館
- 9/15~16 もり・けん 加古川温泉旅館「みとろ荘」にてコンサート
- 9/15~16 徳永H教室、浜松1泊2日セミナー、
静岡県天竜自然体験センター「湖畔の家」、主催 古橋H教室（浜松）
- 9/15 祭 大阪クロモニー 千一・片山地区敬老慰安会 吹田メイシアターホール
- 9/16 日 街角アットホームコンサート、高槻市立総合市民交流センター6F
ハーモニカのかたも多少出演された模様
- 9/22 土 寺村安男 アコースティックHサウンド 堺市喜楽歩
- 9/23 日 もり・けん 武田尾温泉JR庵線トンネルにてコンサート
武庫川の自然を守る会主催
- 9/29~30 もり・けん 生駒山「鬼っ子診療所」にてコンサート
- 10/5 金 もり・けん 曾根崎警察地下NESSO WITHコンサート
- 10/7 日 第12回 関西H祭り 兵庫県民会館けんみんホール
102組・人(欠席1)が出演した。午前10時から午後8時15分まで。写真参照
- 10/13 土 姉川敏彦 大津市仰木の里東小学校 演奏と講演
- 10/13 土 尼崎Hエコーズ、第16回楽しいH発表会 尼崎市立大庄公民館
- 10/14 日 第2回エコーズ神戸西地区コンサート
- 10/14 日 もり・けん 京都みつばち保育園 講演と演奏
- 10/14 日 京田辺H同好会、京田辺市民音楽祭、同志社女子大新島記念講堂
- 10/20 土 もり・けん 堺市創造空間BOX1-6 話とコンサート
- 10/20 土 梁木進、金丸寿夫、南海本線湊駅コンサート
- 10/21 日 ピクニック・コンサート 堺市ハーベストの丘屋外ステージ 曇天
先方が所有しているPAを借りることができたので、大きな音で演奏できた。写真参照
- 10/24(水)~28(日)ワールド・H・フェスティバル、ドイツ、トロシゲン
当連盟会員では、吉村則次、永野富康、宮本一男、岡村貞彦、中辻直美の4名が参加。
ほかに関西からは1名、合計6名が参加した。またJTBツアーでは関西の3名を含め
21名及びフランス在住の日本人2名が参加された。別記事及び写真参照
- 10/27 土 第2回芦屋上宮川Hサークルコンサート、上宮川文化センターホール
- 10/27 土 6pm 第7回浜松Hフェスティバル アクトシティ中ホール
- 10/27 土 京田辺H同好会、ふれあいコンサート、京都府立京阪奈園

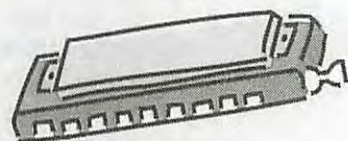
- 10/28 日 もり・けん H教室全生徒発表会+コンサート 西宮オーパスホール
- 11/3 土 京田辺H同好会、京田辺市民文化祭
- 11/4 日 もり・けん 兵庫県朝来町でコンサート
- 11/5 月 もり・けん 西宮コミュニティセンターで童謡コンサート
- 11/11 日 吉村則次、梁木進、ソフィア堺アンサンブル、ピアノ中辻直美
堺市中百舌寿楽会館 独居老人の会ふれあいコンサート
- 11/11 日 響けHサウンドin北九州 ゲスト ノーブルズ、竹内直子等
主催 北九州Hクラブ=後藤宏男(当連盟会員)
- 11/12 月 関西ハーモニカポップス合奏団 定期演奏会 吹田市メイシアター中ホール
- 11/14~15 水木 徳永延生 大阪ブルーノートに出演
アロージャズオーケストラのゲストとしてH演奏
- 11/16 金 7pm 関西Hポップス合奏団 盲導犬育成の為のチャリティコンサート=
エバグリーンコール演奏会にゲスト出演 大阪女学院ホールチャペル
- 11/17 土 小林史真氏リサイタル 大和高田市さざんかホール
- 11/17 土 姉川敏彦 長浜市南中学校 演奏と講演
- 11/18 日 Ham MiOHAS主催 南大阪H祭り、堺市総合福祉会館
ソロ42人、アンサンブル12組、合計54組(人)が出演した。
- 11/19 月 研修会 ベースの乱用 講師 白鳥達夫
- 11/23 祭 和谷泰扶 ギター福田進一 京都駅コンサート
- 11/24 土 もり・けん 道厨房コンサート
- 11/25 日 徳永教室発表会及び徳永延生ライブ 大正アゼリアホール
- 11/30 金 H金曜日、堺市カラオケ・アンディ
- 12/2 日 吉村則次、ピアノ中辻直美
堺市イトーヨーカドー内ヤマハ堺センター ヤマハ・クリスマス・マラソン・コンサート
- 12/2 日 姉川敏彦+淡海Hクラブ 大津市ジョイントコンサート
- 12/2、12/9 もり・けん 草原の詩展コンサート のらや鳳店
- 12/3 月 研修会 音の美しさの追及 講師 吉村則次
- 12/8 土 もり・けん 道厨房コンサート
- 12/16 日 第3回エコーズ・グリーン六甲 クリスマス発表会 東灘区民センター
- 12/16 日 もり・けん 生駒にてクリスマスコンサート
- 12/17 月 13:00 みんなのHコンサート 大阪府立文化情報センターさいかくホール
問、0726-41-2087 大石
- 12/19 水 もり・けん 曾根崎警察地下NESSO WITH クリスマスコンサート
- 12/20 木 吉村則次、中辻直美、大東アンサンブル等、
門真市サービスセンター智鳥で演奏
- 12/21 金 6pm 吉村則次、金川一、梁木進、大東Hアンサンブル、ピアノ中辻直美
大東市立文化情報センター(JR学研都市線住道駅ビル1F)、072-871-1125
「愛と平和と自由のために」コンサート 主催、大東市同和事業促進協議会
- 12/22 土 尼崎市総合文化センタークリスマスコンサート
- 12/25 火 6:30pm 和谷泰扶 マウスオルガンクリスマスコンサート
阪神大震災被災者・被災児救援チャリティコンサート 高槻市生涯学習センター
2500円 問、0726-89-0727 ムジカ工房

2002年(平成14年)

- 1/13 日 クロマチック・セミナー リズムトレーニングetc. 講師 徳永延生氏
主催 ミュージックオフィス ウッドバレー 0726-83-2945 別ページの案内参照
- 1/14 祭 当連盟定期総会、懇親会、徐園 別ページの招集案内参照

- 1/26 土 1:30pm あつぎハーモニカコンサート2002 厚木市文化会館
 2/4 月 (予定) 常任理事会
 2/18 月 6:30pm 連盟研修会 リズムの訓練 講師 吉村則次、別ページの案内参照
 3/4 月 6:30pm 連盟研修会 聴音の要領 講師 白鳥達夫、別ページの案内参照
 3/10 日 クロマチック・セミナー 修理とメンテナンス 講師 吉村則次
 主催 ミュージックオフィス ウッドバレー 0726-83-2945 別ページの案内参照
 3/15 金 18:00~21:00 大石昌美チャリティ・コンサート 堺市サンスクエア堺
 2500円(当日3000円) 問、梁木進 072-286-4889
 3/16 土 13:00~15:00 大石昌美 講習会 100名 サンスクエア地下ギャラリー
 2000円 問 上に同じ
 18:00~21:00 ディナー・ショー 180名 サンパレス堺 問 上に同じ
 3/30 土 吉村則次、梁木進等、堺市ハーベストの丘屋外ステージ
 5/12 日 クロマチック・セミナー PAの知識、Myコンサートを開くまで
 講師 中原一行氏 主催 ミュージックオフィス ウッドバレー 0726-83-2945
 場所 未定 別ページの案内参照
 5/12 日 ピクニックコンサート、堺市ハーベストの丘屋外ステージ
 問、梁木進 072-286-4889
 6/9 日 F I H ジャパン H コンテスト 東京お茶の水全電通ホール
 (ブルース部門は6/8土)
 6/16 日 日本H芸術協会(佐秀会)関西支部連合会コンサート、高槻現代劇場
 同封の同協会からの案内ご参照
 7/21 日 第4回西日本ハーモニカコンテスト
 大津市、びわ湖ホール小ホール(323席) 募集は2002/4月号会報にて
 7/30火曜日~8/4日曜日 6日間 第4回アジア太平洋Hフェスティバル
 神奈川県厚木市厚木市文化会館 コンテストもあります。詳細未詳
 第13回関西ハーモニカ祭り
 10月13日曜日又は10/20日曜日目標 場所未定(高槻市、高槻現代劇場を検討中)
- 2004/8/4~8(水~日) 第5回アジア太平洋大会 ホンコン文化センター
 別ページの案内参照

ENJOY HARMONICA MUSIC IN HONG KONG THE 5TH ASIA PACIFIC HARMONICA FESTIVAL 2004



MAIN VENUE:
 HONG KONG CULTURAL CENTRE
*its advanced facilities attracts
 the widest range of
 first class performances*
<http://www.lcsd.gov.hk/hkcc>

2002年 会報発行予定表

編集局長

号数	月	原稿 締切	発行日	特別内容	同封物
151	4月号	2/15 金曜	3/18 月曜日	理事長あいさつ 総会決議事項報告 収支決算表、予算表 新役員表 各部局年間活動計画	コンテスト応募要領 アジア太平洋大会案内 同コンテスト応募要領等
152	7月号	5/17	6/17	ハモ祭り出演者募集	ハモ祭り申込書 アジア太平洋大会プロ
153	10月号	8/16	9/17		ハモ祭りプログラム
154	2003/1月号	11/8	12/9	総会招集通知	年会費請求書

発行日は前月の中下旬の月曜日

原稿の締め切りは、発行の約1カ月前の金曜日、編集局長宅到着基準

印刷業者への原稿送付は、締切日直後の月曜日

印刷完了納品は、発行日の前週の金曜日

年間行事予定と記事・同封物との関連

6/16日 佐秀会関西支部連合会コンサート 募集案内を1月号に

7/21日 西日本ハーモニカコンテスト(担当 事業部)

日にち未定日 関西ハーモニカ祭り(担当 事業部)

募集は7月号誌上 プログラムは10月号に同封

研修会(研修部) 毎号に次の3カ月分の予定

2002年7月の厚木市におけるアジア太平洋大会、詳細判明しだい会報に掲載

編集の方針

会報は、規約第3条の規定する当会の目的であるハーモニカの普及拡大及び会員相互の親睦を達成するための非常に大きな重要な手段の一つと考える。この目的を達成するために次の記事を掲載する。

- ①当連盟の活動及び当連盟の会員の活動(他地域での活動を含む)の予定、結果の報告及び写真の掲載を第一に考える。所管地域における会員以外のかたのハーモニカの行事
- ②当連盟会員も関係すると思われる全国的あるいは世界的な行事
- ③当連盟の活動を他の地域へ知らせること。
- ④演奏技術、楽器の解説、メンテナンス等
- ⑤毎号50ページ前後とする。

レギュラー記事

ハーモニカカレンダー(ハーモニカ行事の記録及び予定)

写真ページ、会員及び演奏団体の活動状況、教室の状況

レターボックス(会員等からの便り)、会員の異動

演奏技術向上のための記事、ハーモニカそのもの(ハード)の知識、音楽の知識

費用

1冊あたり製作費用約400円、郵送費用200円、合計600円 製作部数330部

当連盟の活動の宣伝及び情報交換のための贈呈、新規入会勧誘のための予備印刷がありますので、会員一人1回あたり900円がかかっております。年4回で3600円。

みなさんからの年会費5000円のうち約70%を会報費用に使っております。

第12回関西ハーモニカ祭り 2001/11/7
神戸市 兵庫県民会館 けんみんホール



高槻ハーモニカクラブ



左上、親子バンドの
ザ・クレージー・ドッグス

上、特別顧問
森本 恵夫 氏

ハワイアンスタイルの
ユーユー・ダックス



最大人数の
淡海Hクラブ



立ち見も出た聴衆



少女も入れた
淡海Hドラゴン7



上及び左、尼崎Hエコーズ



新顔のブリーズ
アンサンブル



ハーモニカズ・
アバンドーネ



村上祇子と中島吉男



理事長 仲村 眞



エコーズ・グリーン六甲
合同発表会 オルビスホール



ハーモニカ金曜日
2001/8/17 堺市「アンディ」にて。
11/30にも同じ場所で開催された



2001/10/21 ピクニックコンサート
堺市のハーベストの丘屋外ステージにて

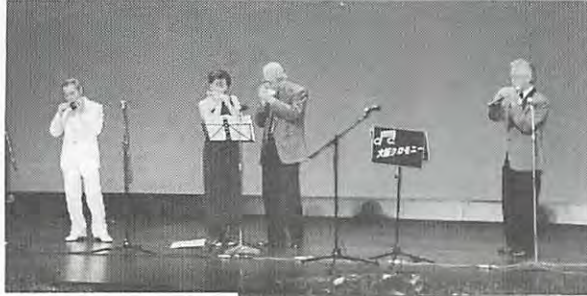


2001/10/19 堺女性大学の運動会にて
同大学のハーモニカ教室の生徒の一部がハーモニカを
吹いてパレードしました

ハーモニカふれあいコンサート ハーモニカコンサート祭り
クロモニージャパン主催 旭区民会館ホールにて



特別ゲスト仲村眞氏 左から3人目



特別ゲスト 楠 司郎氏

ハーモニカふれあいコンサート
終了後、親睦会(全員参加)



大阪クロモニーハーモニカ教室 定期演奏発表会



福祉施設関係よりの依頼 演奏出演

敬老の日 吹田メイシアターホール

ソフィア塚アンサンブル

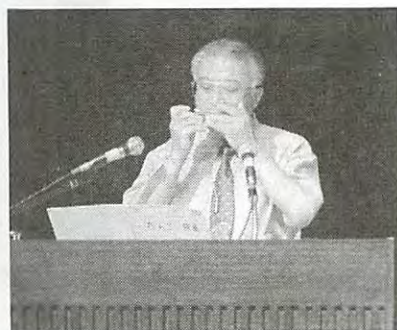


2001.9.1 中辻音楽教室 アンサンブル コンサート 25th 於：リーガロイヤルホテル塚 利休の間

姉川敏彦 7/28 彦根、高宮公民館



姉川敏彦 7/15 瀬田南公民館



高寿大学（彦根市高宮）にて



テロ犠牲者追悼演奏会で
スティービー・ワンダーが
ハーモニカを吹いていました
NHK-TV

世界ハーモニカ祭り
2001/10/24-28 ドイツのトロシingenにて



クロマチックの
コンテスト会場
演奏中の写真は禁止された



グローヴンのセミナー



開会式の
歓迎演奏



ファタ・モルガーナ・カルテットの
ワークショップ





世界大会（ドイツ）に参加した
（左から）吉村則次、加藤啓子（名古屋）
岡村貞彦、中辻直美、永野富康
参加した宮本一男は、写真を撮影中



平成13年10月20日
堺祭りの一環として堺市湊商店街祭りが行われた。駅前の広場で
住吉オールドハーモニカ・クラブが中辻直美さんのピアノをバック
にすばらしい演奏をされました。

おもしろ音楽コミュニティ「音の扉」スペシャル ハーモニカとチェロが織りなすハーモニー



小林史真 長谷部一郎

共催／(財)地域創造、助成／(財)全国市町村振興協会制作協力／(社)日本クラシック音楽事業協会
音楽で心の休日しませんか？

国内外で目覚ましい活躍をみせるハーモニカのワールド・チャンピオン、小林史真。彼女が奏でる優しい音色と豊かな表現を聴けば、その新鮮な楽器の虜になるに違いありません。ソリスト、室内楽奏者として各方面より信頼が厚く、その力強くも優しい演奏に定評があるチェリスト、長谷部一郎との共演で、優しく絶えてくれる自然のメロディーを、あなたにそっと届けます。

～コンサート終了後、ティーパーティーを予定しています～

出演者とともにコンサートの余韻をお楽しみください。

場所／レセプションホール 参加費／¥500（先着200名様） ※チケットはホールでのみ取扱っています。

11月17日 14:30開場 15:00開演（含観予約B/22(米)～
大ホール【全席自由】
一般発売B/25(土)～
（1階・600席のみの限定販売）
+ ¥1,000 ※チケットぴあでの取り扱いはありません。 ※小学生よりご入場いただけます。

クロマチックハーモニカ／小林史真
チェロ／長谷部一郎、ギター／尾尻雅弘
予定曲／タンゴの歴史より（A.ピアソラ）
砂山（山田耕筰） 他

●クロマチック●
ハーモニカ

小林史真

Shima
kobayashi

を

1～3月研修会開催のお知らせ

研 修 部

第1回 2002/2/18 月 6:30~9:00pm

リズムの訓練 講師 吉村 則次

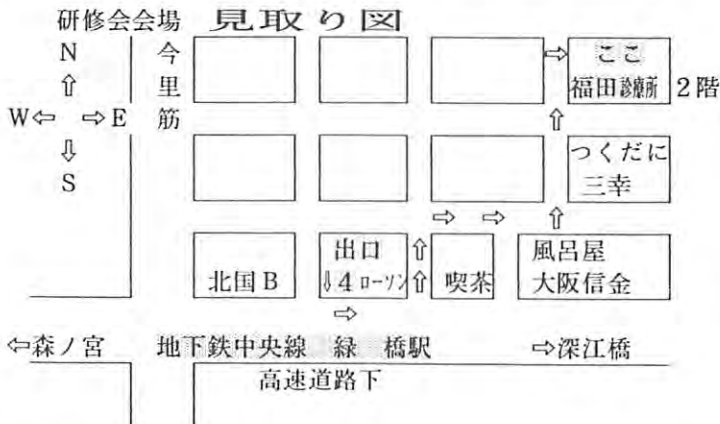
(特に)複音の無伴奏独奏のかたの演奏を聞いていると、リズムをとるのに非常に苦労されている様子が伺えます。独奏だけでなく、アンサンブルでもリズムの「ずれ」が感じられます。本号別ページの特別顧問森本恵夫氏の「とっておきの話」にもそのようなことが述べられています。どうしたら正しいリズム感を習得することができるのかを、みんなで考えてみたいと思います。

- 1、メトロノームはスピードを見るだけのものではない。リズムの練習に欠かせないものである。どのようにしてメトロノームを利用するか。
- 2、休み符号のほうが音符よりむずかしい
- 3、付点音符、このやっかいなもの
- 4、音符の始まりと終わりが「違い」を作る、特に終わりがポイント
- 5、カラオケを使って正しいリズムで吹いてみよう
- 6、どうしたら「リズム感」が養われるだろうか

第2回 2002/3/4 月 6:30~9:00pm

聴音の要領 講師 白鳥 達夫

- 1、場 所 医療法人 福田診療所 2階 友遊館
537-0021 大阪市東成区東中本1-4-17 電話 06 6974-2220
(地下鉄中央線緑橋4号出口すぐ、見取り図は下記のとおり)
- 2、費 用 運営費、場所代及び資料印刷代として、各回1人500円
- 3、必要なもの 各種ハーモニカ、筆記用具等、
第1回のものにはお持ちのメトロノーム、カラオケCDまたはMDをご持参ください。
- 4、ミニ・コンサートを行います。MD・CD、マイクの設備あり。
- 5、問、研修部長 白鳥 達夫 電話 06 6728-7951



別ページに掲載のとおり、ミュージックオフィス ウッドバレー (木谷悦子主宰) のクロマチック研修会も3回あります。どうぞ奮ってご参加ください。

間違っていないですか
あなたの練習法

関西ハーモニカ連盟特別顧問 森本 恵夫

現在私は12の教室で指導を行っています。月2回の指導ですから、24日指導に出かけ、その間をぬって、編曲、スタジオ録音（ドラマのBGM）、CDのレコーディング、コンサート、原稿書き、・・・等々追い回されている毎日です。

教室で生徒さんの指導をしていると、少しでも早く上達してもらいたいので、あれやこれやと指導に工夫をこらしているのですが、中々思ったように上達してくれません。

3年も4年も吹いているのに、どうしてキッチリテンポがとれないのだろう。どうして音符がちゃんと読めないのだろう。

決してそんなに難しいことを要求しているわけではないのに、思うようについて来てくれないのは何故だろうと、いつも考えさせられてしまうのです。

その結果いくつかの思い当たる点がわかって来ました。

其の一、「1，2，3という数とドレミという音とが頭の中で直結していない。」

例えば、1，2，3という楽譜を見ていながらミ、ファ、ソと吹いて気づかないということが起きて来ます。

ですから、簡単な曲をドレミ唱法で呼称出来るように指導することが必要です。

その手始めに、毎日生徒さんの出欠をとるときに、「三つの音」と称して、音階上の三つの音を呼称して、その音を吹いてもらうということをやっています。

例えば、名前を呼ばれたら、「ハイ、ミラソ」と返事してミラソ（365）を吹いてもらうというわけです。

毎回これを繰り返していると、次第にドレミ唱法が身について来て、自分の出している音が正しい音か、正しくない音かが、つかめて来ます。

其の二。1拍というものをよく理解させます。私達には当たり前の1拍、2拍という概念が、生徒さんにとっては、決して易しいことではないらしいのです。

その結果、一番困る「寸づまり」という現象が始終起きてしまうのです。

例えば、1――― この4拍を数えるのに、イチ、ニー、サン、シーでは中々テンポが揃わないのです。そこで、しつこいように

イチ\トオ ニイ\トオ サン\トオ シイ\トオ

というように「トオ」を強調して、はっきり4拍を植え付けるようにします。

~~~~~

そのほか、付点音符、三連符のとり方が中々出来ません。それぞれ工夫をこらして、キッチリ楽譜を読めるように指導して下さい。

さて、楽曲の練習をするときに、つかえながら終わりまで吹くということを殆どの人がやっているようですが、これでは中々まとまらないのです。

そこで、急がば廻れ、次の練習法をやってみて下さい。

(1) 部分的に練習する。

やりにくい箇所を部分的に練習して、そこが出来るまで先へ進まないことです。

(2) ゆっくり練習する。

正規のテンポに関係なく、1音1音ていねいに音を出す練習をします。

(3) 正確に音を出す。

楽譜通りの音と長さが正確に出ているか確認しながら音を出す。

(4) 繰り返して練習する。

何回繰り返しても、絶対間違えなくなるまで繰り返し、その部分を暗譜するまで吹きこなすことです。

それが出来たときに始めて先へ進むのです。根気が要りますが、そういう練習が出来ればメキメキ上達して、結局曲のまとまりも早いのです。

それをやらないで、つかえつかえ最終まで通した練習を何回やっても、絶対にまとまりません。ところが大概の人が、この能率の悪い練習法をしているのです。

はっきり言って、複音ハーモニカを長年お吹きになっていながら、楽譜通りキチットお吹きになっていない方があまりにも多いのは、実に残念なことです。

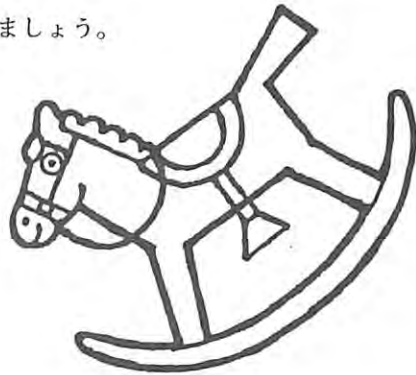
勿論、楽譜は音楽のすべてではありません。楽譜に書ききれないことが沢山有るからです。だからと言って楽譜を良い加減にはしてはいけません。

楽譜は音楽のすべてではないからこそ、先ず楽譜を正確に演奏しなければならないのです。その上で、楽譜の背後にある作曲家の意図をどれだけくみ取って表現出来るかが、演奏家の評価につながるのです。

~~~~~〇~~~~~〇~~~~~

難しい議論はさておいて、もう一度結論を確認しましょう。

- 1, 部分的に
 - 2, ゆっくりと
 - 3, 正確に
 - 4, 暗譜するまで繰り返し
 - 5, それが出来るまで先へ進まないこと。
- これこそ、上達への最短距離なのです。



では、おのおの方、よいお年を！！

堺市ヤマハでクロマチック教室

吉村 則次

ヤマハ堺駅前センター（南海本線堺駅近くのイトーヨーカドー6階）をお借りして、クロマチック・ハーモニカの個人レッスンをすることになりました。場合によっては2～3人のグループでも可能です。

開催日に限定がありご不便をかけますが、原則として第2・4火曜日午後。1回50分。ご希望のかたは、電話及びFAX 072-251-9398吉村則次まで。

ハーモニカが上達する為の大切なこと（7）

全日本総合音楽院院長

F. I. H(世界ハーモニカ連盟)日本支部役員 池田 輝樹

以前、ハーモニカが上達する為には、他の楽器と同じように音楽全般（各種）の勉強をすることの大切さを述べましたが、今回はその中でも根本的な、聴音を取り上げてみます。

以前は、そんなにでもありませんでしたが、現在では絶対音感を身に付けるのは音楽を志す者にとって当然のようになって来ました。

一番大切なのは、幼児期にしっかり聴音を身に付けさせる事だと思います。依頼されて行っております幼稚園や保育園の園児の中には自然的に絶対音感が身体にしんとうしている方がたくさん出て来ております。ハーモニカ等は全員必ずさせており、ハーモニカ等々によるいろいろな聴音をこころみさせております。

聴音には、いろいろな種類がありますが、大きく分けると次のようになります。

- (1) 単音聴音
- (2) 旋律聴音
- (3) 和音聴音 等。

(1) 単音聴音

書いて字のごとく一つの音の聞き取りです。どの音から始めてもかまいませんが、最初は一度（同音）位から始めて二度、三度というように、だんだん音を飛躍させて行きます。中音域が出来るようになったら、だんだん低音や高音に音を広げて行きます。8度（オクターブ）以上に音がとびますとむずかしくなって行きます。

器楽曲の中には2オクターブ以上も音が飛ぶ曲もたくさん出て来ますので、単音聴音が出来ないと判らなくなります。特にハーモニカは、鳴らす音が目には見えませんので、音を感覚的に身に付けることが大変大切なのです。あせらないで何回も音をおぼえることに挑戦してみてください。

(2) 旋律聴音

2音以上を連続して聞き取ることです。たとえばド、ミ、ソやシ、レ、ソやド、ファ、ラ等々教師の吹くハーモニカの音を聞いて、それらを階名唱してみたり、ハーモニカで吹いてみたりさせます。これも、音程的に最初のうちは一度や二度等々、音をあまり飛躍させないで二音や三音位で始めてみて下さい（例、ド、ド、レやド、レ、ド等々）。やはり私の行っている幼稚園や保育園等々の3歳や4歳、5歳等の園児は見事に当てて、私について来ます。

(3) 和音聴音

二つ以上の音を同時に鳴らして当てさせることです。ハーモニカはご存じのように各種の和音のすべてが鳴らせることは出来ず、限られた和音しか奏せませんが、合奏等をする時に和音聴音が出るのと出来ないのでは大変な差が出て来ます。又、和音は和声と同様に編曲や作曲をする場合、重要な役割を果たします。

二つ以上のいろいろな音を同時に鳴らして、何と何の音かを当てることから始めて、3音、4音とだんだんに音を追加してゆきます。和音聴音は、幼児たちも5歳位の年長組になって来ますと、面白い程よく当てるようになります。ドとミやミとファやド、ミ、ソやファ、ラ、ドやソ、シ、レ等々やさしい和音聴音から面白い例等を示して、いろいろ、こころみて下さい。絶対的ではないことを言っておいて、3和音の4種類に名前を付けてすると大変面白くなります。

[例] ド、ミ、ソ=C（王子様が鳥に乗ってやって来ました）、ファ、ラ、ド=F（お姫様

が静かにお出ましになりました。)ド、♭ミ、ソ=Cm(おじさんがゆっくり歩いて来ました。)、ド、♭ミ、♭ソ=Cdim(魔法使いが突然に現れました。)ド、ミ、♯ソ=Caug(嵐になりました。)等。

それぞれの和音に、各種のリズムを付けて、分散和音的にピアノ等で弾いて下さい。ただし、あくまでも絶対的なものではないので、その点はよく判りやすいように説明をしておくことが大切です。

聴音には、その他いろいろな方法もありますので、(たとえば目隠しをして音が聞こえる方向を指す。等々)工夫をして、楽しく聴音が身に付くようにすると良いと思います。

なお、聴音の基礎となるのは、いろいろな聴音練習等の本も出ておりますのが、やはり、コールユープンゲンやコンコーネ等の声楽の本によって身に付けるのが自然的だと思います。

なお、コールユープンゲンやコンコーネ等は、どこの出版社のものも内容は大体同じです。又、ハーモニカの練習曲にも最適と思います。私の自宅等でのハーモニカのレッスンには、必ず使用しております。

以上

ミュージックオフィス・ウッドバレイ主催
クロマチック・ハーモニカ・セミナー
music office WOOD VALLEY 木谷悦子

第1回 クロマチック・ハーモニカ・セミナー 2002/1/13(日) PM2:00~4:00
「リズムトレーニングと
基礎トレーニングについて」

講師 徳永 延生 氏

第2回 クロマチック・ハーモニカ・セミナー 2002/3/10(日) PM1:30~4:30
「修理とメンテナンスについて」

講師 吉村 則次 氏

以上2回については

場 所 吹田さんくすホール第4会議室

(JR吹田駅ビル 吹田さんくす一番館4F 吹田市朝日町1-401)

TEL 06-6382-7243

定 員 各60名

受講料 資料代込み 各2000円

主 催 ミュージックオフィス ウッドバレイ

申 込 0726-83-2945 FAX 0726-83-2946 木谷悦子まで

第3回 クロマチック・ハーモニカ・セミナー 2002/5/12の予定 場所未定
「PAの知識、Myコンサートを開くまで」

講師 中原 一行 氏



特別顧問の徳永延生氏
ブルーノート・デビュー

Blue Note
OSAKA

ARROW JAZZ ORCHESTRA

featuring TAKASHI FURUYA & TAKASHI MATSUNAGA
JUNKO OCHI & NOBUO TOKUNAGA



アロー・ジャズ・オーケストラ



古谷充 (Sax)

越智順子 (Vocal)

松永貴志 (Piano)

徳永延生 (Harmonica)

伝統のビッグバンドAJOと関西に縁深い4人のアーティストが共演

ブルーノートには、ここでしかない出会いがある。ここでしか生まれない不思議な空気がある。

今やすっかり定着した異なるジャンルのアーティスト同士が共演や、嬉しい驚きを与える企画性に富んだコラボレートなどが実現。濃密な空間とぶつかり合う二つの個性。この三位一体の妙とも言える不思議な出会いが、唯一無二のサウンドを生み出すのだ。

ただ単に音楽を聴かせるだけのスペースを提供する場なら、それこそいくらでもある。しかし、そ

れにプラスアルファを付け加えて、さらに音楽を楽しむ喜びを大阪ブルーノートは提供し続けている。

大阪の名門ビッグバンド、アロー・ジャズ・オーケストラ(AJO)と様々なアーティストとのコラボレートもそのひとつである。58年の結成から40余年の歴史を数え、日本では数少ないプロのジャズビッグバンドとして関西を拠点に活動を続けるAJO。歴史を重ねると、その伝統ゆえにひとつの型を頑なに守り通そうとするグループやアーティストも存在するが、AJOは大

阪ブルーノートでのコラボレートをもみても分かるように、非常に柔軟な姿勢と音楽的興味を失わないでいる貴重な存在だ。そんなAJOが今年コラボレートするのは、いずれも関西で活躍する4人のアーティスト。大御所・古谷充と若手15歳の天才少年・松永貴志の新旧ジャズ・ミュージシャンの揃い踏み。そして日本人離れした声量と抜群の歌唱力で今後の活躍が大いに期待されるゴスペル・ジャズシンガー・越智順子は、甘く切ない音色で聴く者を心の故郷へと

誘うクロマティックハーモニカ奏者・徳永延生とともに、AJOと共演を果たす。ほかではなかなか実現しない組み合わせばかりに意識をとりわかれがちだが、このAJOと他アーティストがコラボレートするシリーズは、そこばかりが魅力ではない。何とんでも、ふたつの異なる才能が並び立つステージ上と、奏者の間近に構える客席とでダイレクトに反応がやり取りされ、独特の雰囲気醸成するブルーノートという空間が合わさってこそ、特別なサムシングが生まれるのだ。

■アロー・ジャズ・オーケストラ (写真)

11月12日(金)～15日(月)、園7時、9時半、大阪市北区曽根崎新地2丁目の大阪ブルーノート(地下鉄西梅田駅、☎06・6342・

7722)。北野タカオ(ピアノ)ら出演。ゲスト出演は12日と13日古谷充(サクソフォーン)、松永貴志(ピアノ)と14日と15日越智順子(ボーカル)、徳永延生(ハーモニカ)。6000円(税



・飲食代別)。要予約。

て、個人とグループあわせ

手の上にすっぽりと収まってしまふ小さな楽器、ハーモニカ。誰もが懐かしさを感じる思い出の楽器です。近年、その手軽さと素朴な音色から世代を問わず人気が高まっています。今年七月、関西一円の愛好家約五百人が駆けつけ、当館9階のけんみんホールで関西ハーモニカ連盟主催のコンサート「第12回関西ハーモニカ祭り」が開催されます。午前10時開演

ハーモニカの音色を
楽しもう!

「箱根八里の半次郎」まで、多彩な演奏が披露されます。入場無料。お問い合わせは飛田さん ☎0774・41・6568まで。

て百二組が出演。「ハンガリア舞曲第4番」などのクラシックの名曲から「もみじ」「ムー・リバー」などの童謡や映画音楽、世界の民謡、さらに歌謡曲の「悲しい酒」



ハーモニカは腹式呼吸で健康に良いことでも関心を寄せられています

県民会館

10月のトピックス



ハーモニカの懐かし
く優しい音色で聞く人
の心を和ませたいとホ
ランティアに励む人
夢を紡いで楽しい空間
を作りたいた店をオー
プンした人。それぞれ
が人との出会いを大切
に、夢とぬくもりを伝
えようと心を注いでい
ます。

ハーモニカ通じボランティア 震災きっかけに活動スタート

老人ホームなどで演奏
聞く人の心なごませる

多くの人の笑顔や、手
ひらから流れる音色に不
思議そうに見つめる子供
の姿にうれしくなること
も。活動の輪は徐々に広
がって

「相手を楽しんでもら
うだけでもきれいな音
が出るようにと毎日の
練習は欠かせません。
ステージで配る歌詞カ
ードを手作りしたり、
楽譜を数字で表すハー
モニカ楽譜に書き替え
たり努力を惜しみませ
ん。」

小学5年生の時、父
親からプレゼントされ
たハーモニカがうれし
くて夢中になって吹き
はじめ、いつの間にか
何曲も吹けるようにな
りました。戦後の焼け
野原でも、柔らかな音
色にずいぶん元気づけ
られました。阪神淡路大
震災の時に人の役にた
たいと考え、この活動
が始まりました。

だれもが一度は手
にしたハーモニカ。懐
かしい音色は郷愁を
誘います。垂水区泉が
丘の尾路進さん(74)は
各地のイベントや老
人ホーム、デイサー
ビスなどで、ハーモ
ニカ演奏を通してボ
ランティア活動を行っ
ています。

演奏では曲に合わせ
てハーモニカを替え
ます。ホールという約
10坪の小さいのから、
ときには2本一緒に
使うこともあります。

唱歌や童謡、歌謡曲
など、聞く人の年齢
に合わせて演奏を心
がけています。歌詞
カードを見ながら吹
奏する人たちのそば
に歌う人たちのそば
に楽器の説明を交え
たり、時間がたつを
忘れてしまします。



聞く人を楽しませたいと毎日の練習に余念がない尾路さん

『大東市ハーモニカアンサンブル』



▼活動場所…大東市立公民館
▼活動日…第二、第四、金曜日
初級 Pm四時から七時
中級 Pm七時から九時
一義
▼連絡先…林 義
TEL 072(872)3751

九十八年十二月にスタートした「大東ハーモニカアンサンブル」は現在、初心者グループ五人、中級グループには四十七歳〜七十三歳まで十四人のメンバーがいます。練習されているのは、ハーモニカと名が付いても幼い日に吹いたあのハーモニカとは全く違うもので、半音階が自由に出せるレバー付きの「クロマチック・ハーモニカ」というものです。吹き、吸い、そしてレバーを押しての吹き、吸いで一つの穴に四つの音源を持ち、五線譜があれば演歌からクラシックまで、どんなジャンルの曲でも幅広く楽しむことができます。代表の林さんからは「これ一本でもなでもできます。別名「手のひらの宇宙」とも呼ばれているんですよ」と、こやかに話して下さいました。

吉村則次氏(関西ハーモニカ連盟)の指導で、マイウェイ、ものけ姫、川の流れるように、など約五十曲のレパートリーがあり、年に一度のコンサートに向けて熱心に練習されています。昨年のコンサートでは、大勢の観客を前に野崎小唄やサライなど、日頃の練習の成果をおもいつきり披露、拍手喝采をあげました。



SEPTEMBER

9

Vol. 169



「HAPA-THE10」(台湾)。1998年に結成されたアマチュアグループ



左=マレーシア・ハーモニカ連盟会長・張雅誥(チャン・ヤー・カオ)氏。右=森本恵夫氏は「コンドルは飛んで行く」「チャルダッシュ」を演奏



会議室
304 定員34名

ハサマースクール会場
304号室(8/4)
百子学芸

9:00~10:30
E-1
初めて吹く複音ハーモニカ
(講師 井上初美)

10:45~12:15
E-1
初めて吹く複音ハーモニカ
(講師 岩崎重昭)



初来日した「韓国ハーモニカ・アンサンブル」。中央は韓国ハーモニカ連盟会長・李惠奉(リー・ヘイボン)氏



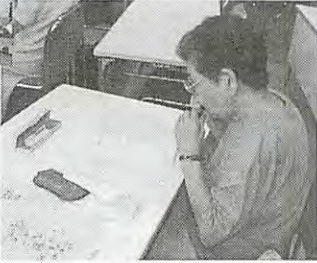
ロビーに現れるとあちこちから声がかかる。その度に気軽に記念写真に収まる岩崎重昭氏(中央)



「出たがり屋コンサート」のラスト272人目は、FIIHの複音部門で奨励賞を受けた女子高校生。「ハンガリアン舞曲No.4」を見事に吹き、会場から惜しみない拍手が贈られた



ガラ・コンサートのパート2に出演した松田幸一氏による「ブルースハーブクリニック」



「初めて吹く複音ハーモニカ」の受講者。合奏の楽しさを味わったようだ……



[8月3日]

■あつぎ鮎まつり前夜祭(厚木中央公園特設ステージ/無料)
地元厚木ハーモニカグループとアドラー・トリオ(イスラエル)

[8月3日、4日]

- ハーモニカ・サマースクール(受講料=90分/各2,000円)
複音・クロマチック・テンホールズの講習会
浜田令子・深沢剛・柳川優子・松田幸一・岩崎重昭・竹内直子・村尾光恵・井上初美・森本恵夫9氏による計22講座
- 出たがり屋のコンサート(小ホール/参加費・入場=無料)
- ハーモニカサービスコーナー(大ホールホワイエ)
- ハーモニカ治療院(大ホールホワイエ)
ドクター=吉田ユージン/吉村則次/鈴木楽器製作所/
トンボ楽器製作所

[8月4日]

- ガラ・コンサート(大ホール/入場料=2,500円)
6か国9プログラム
- あつぎ鮎まつり大花火大会(相模川河畔)
厚木市最大のイベントに海外からの参加者と共に楽しむ

お茶が用意された休憩室を担当していたボランティアのお二人。左から林康子さん、市川喜久江さん、右の富山真千代さんは厚木市の市民講座を受けた後、地元茅ヶ崎の岩崎重昭教室に通っており、ガラ・コンサートを目当てにやってきました。林さんは転居を機にハーモニカ講座を受け、以来ハーモニカにハマっている一人。市川さんも友人に誘われてグループに。「10年以上習っている人も珍しくないですよ」

十四人の上った。そしてスタッフ数、初日が百七十三人(含む通訳二十三人)、二日目二百二十二人(同二十一)。しかもこのスタッフの九割以上が現在ハーモニカを習っている有志によるものなのである。先に上げた大御所はか多くの指導者に恵まれた厚木市は、子供から年配者を対象とした様々な講座を市民に提供。その講座から数多くの自主サークルが誕生している。会場となった市民文化会館の小ホールでは、毎月ハーモニカに関する催し物が開かれるに至っている。こうした地道な活動が見事に開花したサマーフェスティバルは、来年の大会を予見させるに十分であった。来年の大会を予見させるに十分であった。来年の大会を予見させるに十分であった。来年の大会を予見させるに十分であった。(小川)

2001あつぎハーモニカ サマーフェスティバル

第4回アジア太平洋ハーモニカ大会2002厚木 プレイベント



空席数を掲げるボランティア。既に「アジア太平洋ハーモニカ大会」を実施した台湾、マレーシア、韓国、そして来年の開催地である日本の順番にプログラムが進んだ「ガラ・コンサート」のパート1。
パート2は、再来年の開催地香港、来年の日本、特別ゲスト「アドラー・トリオ」が出演

ハーモニカ・サービスコーナーが設けられた大ホールホワイエ。ハーモニカをはじめ、CD、楽譜、楽書、グッズが並べられた。“治療院”（鈴木楽器製作所、トンゾ楽器製作所ほか）には、日頃気になるリードのバランス診断を求める人が多かった



八月三日、四日の両日、「2001あつぎハーモニカ・サマーフェスティバル」が神奈川県厚木市文化会館で開催された。主催は厚木市、全日本ハーモニカ連盟（真野泰治会長）、厚木市文化会館事業協会、同フェスティバルは、来夏厚木市で開催（七月三十日～八月四日）される「第四回アジア太平洋ハーモニカ大会2002厚木」のプレイベントとして行われたものだが、ハーモニカの町を標榜する厚木市ならではの市民による手際の良い手作りかつ充実した内容だった。なお、第五回アジア太平洋大会の開催地は香港に決まっている。厚木市には複音ハーモニカの優れた指導者である岩崎重昭氏をはじめ、コードハーモニカの矢野博文氏、バスハーモニカの平井武氏が居を構え、長年に亘る熱心な指導が実を結び「アザレアカルテット」「厚木チェリーズ」「ミセラネア」をはじめとする若手奏者を輩出、世界コンテストに入賞するなどその活躍ぶりは周知の通りである。また、市がこうしたハーモニカの指導者による講座を積極的に設けて十五年以上が経過、名実ともにハーモニカの町としての存在を確立している。

これを裏付けるのが、サマーフェスティバルに関する左記の数字と言えよう。まず「ハーモニカ・サマースクール」、両日で九人の講師による二十二講座に九百九十九人が受講、出たがり屋コンサートには遠く北海道や沖縄からの参加もあり、二百七十二人がステージに立った。「ハーモニカ治療院」に寄せられたハーモニカは八十本、収容人員一千四百人の大ホールで開かれた「ガラ・コンサート」の聴衆は、一千四百

事務局長 田中 祥雄

11月5日開催の常任理事会において13年のハモ祭りについて反省の意見が述べられた。

今年の関西ハーモニカ祭りの出演者は、ソロ 54人、アンサンブル 47組の出演者があり、午前10時から午後8時半までの長時間にわたりましたが、大変大勢の方々に来ていただき暖かい応援と熱心に聴いていただき、盛況のうちに無事終了出来たことは皆様のご協力に深く感謝申し上げます。また後の方の出演者の人達や、世話役も含め聴衆の皆さんも最後までお付き合いいただきました方々本当にありがとうございました。

今後の開催については、2日間に分けて開催するとか、春と秋の2回に分けてやればなどの意見も出ましたが、会場の確保の問題や世話役と準備期間などで無理ではないかと言うことです……

特に、問題なのは100組以上の申込みがあり、これを制限するしかないのではという意見が多く出された。せめて午後5時か6時には終わりたい。

上手下手ではなく、日頃練習を積まれてその成果を大勢の人達に聴いていただこう、そして、ハーモニカ音楽を楽しんでいただこうという趣旨で開催しております。そのために出来るだけ沢山の人達に出ていただこうと思っているのですが、人数を規制するにはどのような方法があるのか、

先ず第一に申込書の要件を締切日までに正確に記入されたものが到着している事、出演料が期日までに入金されている事、これ以外口頭での申込や締切日が過ぎても要件が完成していないものは受け付けない。

次に、意見として発言されたものは（制限するには抽選方法で決めてはどうか）

- ① 出演者数の制限として、開催地域は持回りなので地元優先で抽選方式にしては
- ② アンサンブルの人も出演者の1/3以上又は30%以上の会員が含まれている事
- ③ 先着順で抽選優位をつける（抽選方法に問題あり）……公明正大な抽選が出来るか？
- ④ 抽選で出場に洩れた方は次回には優先的に出演出来る様に取り扱う
- ⑤ 大きい会場と、小さい会場の、二ヶ所で同時進行する（会場の確保が難しい）
- ⑥ 時間を短縮しようとするなら1曲の時間をもう少し短くする（例えば1組4分とか）
- ⑦ 会場の確保が難しいので、一般の会場を借りると高くつくので、出演料を値上げしては等です。

平成14年度の関西ハモ祭りは10月に高槻市の(1日の)予定で進めています
皆様のご意見を（総会の席上等で）お聞かせください。

第6回たのしいサマー・コンサート (生徒も先生も楽しく)に参加して

田口 幸輝

夏の暑さも八月の終わりになると、朝夕に秋が感じられる。真夏に鳴いていたセミに代わり、コウロギや鈴虫の涼しげな声にふと耳を傾けてしまう。

一昨年(2019年)の10月、ふとしたきっかけで、私の職場(豊中市内中学校)に昔懐かしいハーモニカがやってきた。中学生に地域で活躍されている人達から、色々なものを学ぼう(スペシャル・サタデー)という取り組みのひとつがそれであった。

私にとっては、何年ぶりかで聞く懐かしさ、心に響く音色は、一つの教室から奏でられ、磁石に引き寄せられるように、その方向に足が向いていた。講師の先生の許しを得て中に入り、見学させていただいた。

でも、自分が小学校3~4年だったと思うが、その当時教えていただいたハーモニカは、ただ音を正確に吹くだけだったと記憶している。しかし、目の前で演奏していただいたハーモニカはベースあり、バイオリン奏法あり、マンドリン奏法あり、分散和音ありと、高度なテクニックを駆使され、その音色が私に語りかけているようであった。その日に早速ハーモニカのAメジャーを注文した。小さな子供の頃に買ってほしかったものを手にした瞬間のドキドキに似た気持ちであった。「そうだ、楽譜が必要だ」本屋さんへと、とんで行った。

準備は整ったが教えてくれる人がいない。そこで、講師で来られていた寺村安雄氏をお願いしたところ、刀根山ハーモニカ愛好会を指導されている畑婦美子氏を紹介していただいた。ハーモニカのことについて、もっともっと深く知りたいと思い、3カ月後に堺の寺村安雄氏のところへも指導をお願いした。両教室で学ぶすべてが新鮮である。

小学校以来、触れることがなかったハーモニカを手にして1年半、両先生はもとより両教室での仲間の皆様の暖かい励ましもあって、曲がりなりにも少しずついろんな曲が吹けるようになってきたと思います。何よりもハーモニカを愛する人達と練習できるということは、とても張り合いもあり楽しいことです。今改めてハーモニカの魅力にとりつかれている毎日です。さらに職場では、数名の子供達が昼休みに私のもとへ遊びに訪れ、あまり知識のない私に教えてほしいとってきています。ハーモニカに興味を持つ若い人が増えていったらいいなあと思っています。

8月19日高槻でサマー・コンサート「生徒も先生も楽しく」という催しがありました。

琴・ピアノ・ヴァイオリン・アコーディオン・ギターの弾き語りと色々な方々の活躍の場に参加させていただきました。このコンサートで、あらためて感じたのは、ハーモニカは他の楽器に勝るとも劣らない音色で、演奏が始まると今まで話声かしていた観客席が静かになる。「やはり日本人の心に響くなにかがある」と感動しました。このことは今後に生かせると思っています。日本音楽家ユニオン関西U.L.G.K.の皆様ありがとうございました。最後に少し残念だったのは、あれだけの素晴らしい演奏会だったのに聞いてくれる人が少なかったことは今後の課題になると思います。

なにより練習が大切である

——オーボエ奏者井上圭子氏の話——

吉村 則次

2001/8/19、堺市の女性大学(私がクロマチックの講師もしている)の教養講座で、この9月にパリ・オペラ座の奏者に採用された、若い日本の女性オーボエ奏者、茨木市出身(大津の膳所高校出身)の井上圭子氏の2時間に互る話を聞いた。

私は、自分の役に立つので、音楽演奏者の話をよく聞くようにしている。テレビでも、演奏そのもののみでなく、その人のインタビューに耳を傾けている。

この井上圭子氏の話聞いて、私は非常に得をした気分になっている。

すべてを詳細にお知らせすることはできないが、感銘を受けた事項についてのみ、みなさんになんらかの役に立つかと思い、お知らせしたいと思う。

◎なによりも練習が大切である。

このかたは東京芸大の時代に、毎日(東京の周辺都市の家から)朝の5時に出て、7時に芸大に着いて、練習をしている。またパリの学校(コンセルヴァトワール)に行っていたときには、月2回パリからスイスのジュネーブまで、速いTGVという列車で片道3時間かけて、尊敬するモーリス・ブルグという人の教えを受けに通っている。大阪に住んでいたときには、東京に新幹線で月2回通っていた。

(我がハーモニカの世界でも、東京や福岡から大阪の徳永延生氏のところに通っておられるかたがおられるし、大阪から神奈川県に通ったというかたもおられると聞いたことがある。上達しようと思ったらこのくらいはしなければ……)

◎パリの音楽学校の進級試験・卒業試験は、カーテンの奥で演奏し、審査員は外部の第三者のみで、自分の教授は入れてない。

(我がハーモニカの世界でも、コンテストでは、それが望ましいと言うかたがおられる。カーテンの奥では、演奏態度、表情などがわからないという理由で、これに反対するかたもおられる。ハーモニカ・コンテストの審査をハーモニカの世界以外のかたばかりで占めることは(経費面も含め)なり手がなく、残念ながら不可能のように思われるが、また、例えば大阪のコンテストの審査員全部を、東京や名古屋のかたばかりにするというのも不可能であろう。)

◎オーケストラのオーディションでは、楽譜を見て演奏するか、暗譜で演奏するかは、評価に響かない。進級試験は、カーテンの向こうで演奏するので、どちらにせよ分からない。(ハーモニカの世界では、暗譜が望ましいという考えがあるし、私もそう思っている。というより私は暗譜ができていくうちに練習してからでないと、ステージに上がってはいけないという意味にとっている。)

◎オーボエという楽器は、演奏するのに非常にむずかしい楽器である。リードは自分で木を削って作る、しかし10枚作って使えるのが1枚あればいい方。演奏会場の温度、湿度、風に大きく影響される。


(それに比べればハーモニカは易しい楽器である。正しい穴に正しい息を入れれば、正しいピッチで鳴りはする。)

◎暗譜には苦勞していない。小さいときからバイオリンもやっており、スズキメソッドで音感教育も受けているので、例えばCDで音楽を聴いたら、楽譜がなくても、それをすぐオーボエで鳴らすことができる。ホウ。

(これが望ましいことは私もわかってはおりますが……。60歳を超えてから、このことに気がついていてもできる訳はないと思いますが。そういえばオーボエという楽器は、各楽器のピッチを決める基準になっていることはご存じのとおり。オーケストラでは、最初にオーボエがAの音を出して、そのピッチにバイオリン等他の楽器が合わせている。オーボエは、自分で(他の楽器の助けを借りずに)、例えばA=442の音を出せる「絶対音感」がなければこれではできないことである、えらいんだな、と思う。)

◎ヨーロッパのオーケストラに26回オーディションを受けた。26回目にフランスの小さな町ミュールーズ交響楽団に受かった。それに少し遅れてパリのオペラ座にも受かった。ミュールーズは、パリのサインをする前だったので、けた。

(日本のオーケストラも同じだろうか。こういう方式をとっているのだろうか。コネとかカネとかカオも効いているのではないか。ハーモニカの世界でもオーディションで採用を決めるくらい、需要がある世界になればいいが……)



ホンコンでのアジア太平洋大会は
2004/8/4(水)～8(日)!!
ホンコン文化センターで

編 集 局

第5回のアジア太平洋大会は、ホンコンで行われる旨決定していたが、このほど開催日と場所が掲載された色刷りチラシが手に入った。主催はホンコン・ハーモニカ協会及びキングス・ハーモニカ五重奏団、スポンサーは、ホンコン芸術開発会議とホンコン余暇及び文化サービス局。お近くですから大勢そろって行きましょう。しかし、まずは来年(2002年7～8月)の第4回「あつぎ」大会でしょうか。

ハーモニカ各団体代表者へ

2001/10にドイツ、トロシゲンでのハーモニカ大会に出席した際にホンコンの代表者から2004年の第5回アジア太平洋ハーモニカ大会(THE 5TH ASIA PACIFIC HARMONICA FESTIVAL 2004)のチラシをいただきました。各ハーモニカ団体には、この会報に1～2部同封いたしますのでそれぞれ団体の会員に広く前広にご伝達いただければありがたく存じます。

関西ハーモニカ連盟 副理事長兼編集局長 吉村 則次

「輝けハーモニカサウンド in 北九州」

当連盟会員後藤宏男が中心になっている北九州ハーモニカクラブ主催で、11/11日曜日北九州国際会議場メインホールで、掲題のコンサートを開いたとのこと。ゲストとして、ノーブランズと竹内直子を招いたとのこと。

思い出のハーモニカ旅行

～岡城跡で荒城の月～

高阪 他美子

エコーズグリーン六甲の恒例となっているハーモニカ合宿旅行は、今回も西田幸司先生を中心に26名一行（7月28日の夜）さんふらわー号に乗船、静かな神戸の夜景を後に九州へと向かう。翌朝の別府港までは充分過ぎる時間、まずビールで乾杯。「家族」「仕事」はちょっと横に置いて・・・話に花が咲く。早寝型徹夜型とそれぞれの夜、久しぶりの旅に女三人のんびり朝までおしゃべり（ようそんなにしゃべる事があるな）と言われそう、白々と夜が明ける頃に一番風呂。

～二日目～

一行は別府港よりバスで竹田、岡城跡、瀧廉太郎資料館を見学する。荒城の月の舞台となった岡城は小高い丘にあり1598年播磨（兵庫県）三木城の中川秀成がそれまでの木牟礼の城に代わり近世の城郭型に整えたと言われ、現在は石垣だけが残っている。城跡の周りは緑の樹木に覆われ、瀧廉太郎の石像と土井晩翠の歌碑「荒城の月」がある。真昼の暑さの中に蟬時雨、静かだ。

全員で荒城の月を合奏する。

美しい自然と荒れ果ててゆく城跡、少年の多感な時代を竹田で過ごしたといわれる瀧廉太郎郎偲ぶ。23歳という若さで病死した廉太郎、長命であればどんな名曲が生まれていたのだろうか。凝縮された命の中の一曲であればこそ、さらに感慨深い、偶然にも今練習している独奏曲は荒城の月、世の中が激しく移り変わっても名曲は愛され唄い継がれている事を実感する。此処を訪れた時期が晩秋であればもっと良かったと思う。以前に学校の音楽の教科書から荒城の月が消えると聞いた事があるが、こんな曲こそ残して欲しいと思う。

また原曲のシャープのついた部分ミミラシドシラ、ファファミレミの（レ）は唄ってみると原曲の方が情感を強く感じて私は好きだ。

夜は人吉温泉鍋屋本館、昼間の汗を流す。

～三日目～

日本三大急流の一つ球磨川下りである。1時間30分ほどかけて「急流五つの瀬」を下って行く、石灰岩の断崖をえぐるように川が流れ、所々山肌が覆うようにせり出している、最近ではボートで急流下りをするラフティングが流行っているらしい、若者達とすれちがう。船頭さんはさすがベテラン、急流を鍛えられた筋肉と全身を使い、しかもしなやかに船を操る。急流修理の瀬ではハブニング、前方の船が急に右岸へ寄って行ってしまい、一瞬ドキリとする（最近やっと泳げるようになった私、船に乗る時は年の功、やはりベテラン船頭が正解だね）と一人納得、やれやれ。

球泉洞を見学後「天草国際ホテル」へと向かう、バスの中ではYさんが故郷の五木の子守唄の解説をする、幼い少女たちが遠い奉公先で子守りをしながら父母を恋い慕い家族を想い、辛さに耐えたという。素朴な語りには説得力があり、話の後で聴く子守唄はひと味違って胸を打つものがある（旅の楽しみ方はこんな所にもあったのだ）。

天草五橋を渡りホテルに到着、海を臨む露店風呂、夕食は海の幸が食べきれないほど美味しい。舞台ではハーモニカコンサート、それぞれが独奏する。飲むほどに酔うほどに「カラオケ」「マジック」「河内音頭」と盛り上がる。その後は先生の演奏とワンポイントアドバイス、充実満載の三日目を過ごす。

～4日目～

旅の終わりは鬼池港～口之津港～島原水なし本陣、雲仙災害記念公園と続く。此処では土石流で屋根まで埋もれた災害状況がそのまま保存されている。「普賢岳災害」も「阪神大震災」も自然の脅威の前では人間の脆さ無力さをおもい知らされる、そしてそこから立ち上がる力、乗り越える人間、自然も人間もみんな生きている。

ハーモニカ好き人間たちが、ハーモニカを鞆に入れ共に旅をする。美しいものに感動し、美味しいものを食べ、新しい発見を得て、リフレッシュする。

お土産の重い地酒を買いながら旅へ送り出してくれた家族に感謝、明日からの生活モードに切り替え博多より神戸行きの新幹線に乗る。

先生、幹事さん、皆さんお疲れ様でした。



上、岡城址
荒城の月碑前にて

左、天草にて

ハーモニカ・コンテストの奇々怪々

西日本ハーモニカ・コンテストに向けて

吉村 則次

今回、私はドイツで行われた世界ハーモニカ祭りに参加した。

来年に当連盟が実施する西日本ハーモニカ・コンテストを計画する側に立つものの一員として、ドイツのコンテストのルールをまな板に上げて検討してみる余地があると思われるので述べてみたい。

1、曲数に制限なし。我々日本では、特に明記しなくても、コンテストで演奏する曲数は1曲であるという暗黙の理解がある。ところがドイツのコンテストでは、クロマチックでも複音でも、制限時間内であれば2曲3曲を演奏するものがあった（メドレーではない）。これはルール違反ではなかった。考えてみると、例えば非常に短いトミー・ライリーの「ヴァルセンチーノ」やショパンの「子犬のワルツ」（いずれも2分ぐらい？）を演奏すると、出場者にとっては、練習時間が短いので有利になるのではないか。クラシックの場合、12分の長いものを演奏する人より、6倍の回数を練習することができるし、暗譜も楽ではないか。私は、曲目は制限せず、演奏時間を最低〇分最高〇分というように明記するのがいいのではないかと思う。他の楽器のコンクールでは、そのような方式のものがある。以前あるハーモニカコンテストで演奏時間が短すぎる曲を演奏した人の入賞順位を落とされたのを漏れ聞いたことがある。

2、今回のコンテストのカテゴリーのうち、「課題曲のないクロマチック」のカテゴリーで、ジャズっぽい曲を無伴奏で演奏したものがあつた。それはルール違反とはならず、非常に上手だったので結局そのかたは1位を獲得した。我々はみんな疑問に感じた。しかし、募集のルールでも「クラシックの曲に限る」という制限は明記されておらず、したがって、なんでもありと認められたものと思う。しかし別のカテゴリーに「ソロ・クロマチック・ジャズ」というのがあるのだから、という疑問も残る。そのかたは両方に出場し、両方とも1位を獲得した。深く考えれば、この曲はクラシックだジャズだと決める「ものさし」はない。作曲された時点ではクラシックと考えられても、あとになってポピュラーな曲と誰もが認めるものもある。演奏方法によってクラシックでもジャズになってしまう。ガーシュインの曲の中には、例えばプレリュードのようにクラシックともジャズとも言い切れないようなものがある。日本でも、以前は区分されていなかったが、大勢の意見を反映してクロマチックではクラシックとジャズ・ポピュラーと分けられたという経緯がある。アジア太平洋大会では現在もこの区分がない。結局だれが聞いてもどちらに属するかが明確なものでない曲の場合は、出場者本人がどちらかに決めざるを得ないものと思う。複音ではいずれのコンテストでも、従来からこの区分はない。

3、トリオとは「クロマチック、コード、バスのトリオとする」旨今回から明記されていた。以前同大会で複音を入れたトリオがあつたために問題になった経緯があり、今回明記したものと思う。しかし、日本では複音が多いので、複音を含むトリオがあつてもいいし、リード楽器がホルンハーモニカであつてもいいので、日本では楽器を明記するのはどうかと思う。もう一つ疑問が残るのは、トリオとは、演奏者が3人なのか、楽器が3個なのかは明記する必要があると思う。他の楽器の世界では考えられないことであろうが、ハーモニカの場合は、一人の人が種類の異なる楽器を持ち替えることが有り得る。

また、リード楽器、コード、バスの典型的なトリオと、同じ楽器3個のトリオ（たとえばクロマチック3本）のトリオが同じカテゴリーでいかどうかという点も残る。今回のドイツでは、トリオの楽器が明記されたので、それ以外のものは、3人でも「その他」というカテゴリーに入れられて、救われている。

4、デュエットというカテゴリーがない。結局デュエットは「その他」のカテゴリーで出場され様子。デュエットという出場者が通常極端に少ないために設けなかったのか。アジア太平洋大会のマレーシア大会で相当数デュエットが出場していた。デュエットを設ける場合、同じ楽器2本か、異なる楽器2個かを明確にする必要があるのではないかと思う。また、オペラのデュエットと同様、ピアノ伴奏付きのデュエット（ステージに上がるのは3人）をデュエットとして認めるべきと思う。

5、マイクが使われていない。クロマチック・ジャズのカテゴリー以外はマイクを使用しなかった。これには私は賛成である。マイクの使い方まで審査の対象にされてはたまらない。また、ミキサーの担当の好みや意思が働いて演奏の良否に響いてもたまらない。今回、ジャズのカテゴリーで、リバーブを入れてくれと要求し、リバーブはかからないと拒否されていたのを見た。ジャズの場合は録音された伴奏を使うのが通常なので、音量でそれに打ち勝つためにマイクを使うのはやむを得ないかも知れないが、音量レベルやリバーブのレベルは、手持ちとスタンド使用に分けて、一定にすべきと思う。以前あるハーモニカ・コンテストのアンサンブルの部で、ハウリングを起こしたのを見た。ミキサーの人が、マイクから離れていたのが音が小さいので、よく聞こえるようにとの配慮をしたものであって、故意とは思わないが、演奏している方は多分影響を受けたものと思う。2002年の西日本コンテストは、本格的な音楽ホールである「びわ湖ホール小ホール」で行われる。したがってマイクの問題が当然起こってくる。ホール側で使わせてくれないかも知れないし、いや使うのだと言ったら軽蔑されるかも知れない。

6、年少者と大人の区別。今回は募集時は「年少者が5人以上あった場合は分けることがある」と明記されており、結局ソロ・クロマチックだけが年少者と大人に分けられており、その他はひっくるめだった（もともとこのコンテストには、「学校オーケストラ」というカテゴリーはある。）。複音のカテゴリーでは年少者が2位（同点2人）を獲得した。年少者といっても各国による学校制度が異なり、区分する年齢が異なる。だいたい年少者を分ける理由はなんだろうか。年少者は大人には打ち勝てないというのなら、今回の結果を見れば間違っている。年少者がうまいから、また彼らが大人に比べれば練習時間も十分とれるし、覚えるのも早いから、大人が負けてしまうから、だろうか。

7、アンサンブルの場合の、ハーモニカ以外の楽器の使用比率。これは今回は応募要綱では制限されていなかった。以前は3分の1というルールがあったようだが。これが消えたのはなぜだろうか。やはりハーモニカの比率は決めておくべきではないだろうか。鍵盤ハーモニカは、ハーモニカとは認めないというルールを見たことがあるが、ドイツではそれも明記されていない。非常に音が似通った、金属のリード（フリーリード）を使うアコーディオンや鍵盤ハーモニカは、除外すべきではないかと思う。ジャズの部門で、伴奏にハーモニカが入ってはならない旨のルールはあった。

これらに関し、ご意見を早めに近くの連盟役員に伝えていただきたい。

ハーモニカの世界は狭い

(♪♪イツ・ア・スモール・ワールド♪♪)

(世界ハーモニカ祭り=ドイツ・トロシゲン)に参加して

吉村 則次

スイスのチューリッヒからドイツのトロシゲンに移動するため、10/24チューリッヒ1310発のストゥッツガルト行きICE(特急列車)に乗っていたときである。(トロシゲンは、この線のロットバイルという駅で乗り換え、更にトロシゲンでトロシゲン市内駅行き1両編成の電車(路面電車並の大きさ)に乗るので、この本線のICEにトロシゲン行きの人がそんなに多く乗っていることは想像できなかった)

ギターを抱えた一人の外国人(我々が外国人か?)が話しかけて来た。イスラエルからのイジック・バラスという人で、同じくトロシゲンに行く途中という。自分の生徒がコンテストに出るので、と言う。「なぜ私達がトロシゲンに行くのが分かったのですか」に対して「あなたのトランクに書いてある」とのこと。私のトランクにはアメリカのハーモニカ協会が作成した「Play HARMONICA with Us」というステッカーが貼ってあった。

この時期に、イスラエルのかたが国外に出るのは、テロリズムやユダヤとイスラムの問題で、大変なことだと思った。

「この間の7月にアドラー・トリオが厚木に来たよ、私がドロール・アドラー夫妻とジェイコブ・コル夫妻を京都に案内したんだよ。ニッサン(イスラエルのハーモニカ少年で昨年イギリスの大会で会った)は知っていますか、今回は来ますか」と楽しい時間を過ごした。

そのうち、東京の吉田有信氏(ブルースハープ)がひょっこり私の席を訪ねて来た。この広い世界で、多くの列車が走っており、ICEなので長い車両を繋いでいるのに、なぜわかったの?「先に車掌が検札に来て、”前の車両にシュベニンゲン(ホテルの所在地である)に行く日本人が3人乗っているよ”と知らせてくれたんだ」と言う。その後、後ろの車両に吉田有信氏を表敬訪問したら、吉田有信氏の奥さんと、東京のブルースハープの大竹氏の3人が乗っていました。

ロットバイルで乗り換え、更にトロシゲン(郊外駅)で乗り換えて、1両編成の市内駅行きのローカル電車に乗ると、この時期(その日が登録日であった)多くのハーモニカの人が乗っていた。また、大会本部指定のホテルに行くとハーモニカの人ばかりで、顔なじみの台湾の人がいたし、トロシゲンの路上でもブレンダン・パワーに会ったし、私が泊まったホテルでは、朝食時にイェンス・ブンゲ(ドイツのジャズ奏者で、今回は審査員)やアメリカのホーナー販売会社の社長のリッピングと同席したりした。

多くのハーモニカ友達と会えて、楽しい4泊5日を過ごしました。

主なカテゴリーの入賞者

課題曲なしのクロマチック

1, Laurent Maur 2, Keng Seng Tay 3, Noritsugu Yoshimura, 4, Takeshi Hayakawa
5, Jacques Domy

課題曲付きのクロマチック

1, Kathrin Gass 1, Alexandre Thollon 3, Benjamin Schullcke 4, Philip Archille
5, Allan Ho

ソロ・クロマチック・ジャズ

1, Laurent Maur 2, Ricardo Moreno 3, Bemt Sverre Kvam 3, Akiko Osawa
5, Antoine Le Roux

複音

1, Hitomi Terasawa 2, Arinori Inagawa 2, Nao Nakamura 4, Mino Tagawa, 5, Akemi Iwama

ご挨拶

本年10月ドイツでの世界ハーモニカ祭りのハーモニカコンクールに参加して、私はクロマチック・クラシック部門（のうち課題曲なしの部門）で第3位に入賞することができました。演奏曲目はルーマニアのポルンベスクというかたが100年前に作曲した「（日本名）望郷のバラード（原題は単にBALADA）」でした。

多くの素晴らしい出場者がおられ、うまく行って出場者の真ん中ぐらいに入れば「御の字」という感じてましたが、なにかラッキーな事があったのか、意外にも第3位をもらうことができました。

チゴイネルワイゼンや、ハーモニカのために特に作曲された曲のような高度な技術を要する曲を吹かれたかたもおられました、これに反し私の曲は、演奏したことのないかたにとっては、どちらかといえばそう難しくは感じられない曲でしたが（私にとっては難しい曲でしたが）上位に入賞したということは、考えれば次のようなことではなかったかと、想像しております。

すなわち、高度な演奏技術を披露するより、曲はやさしくても、①原曲に正確に②音を美しく（強弱やビブラート）③感情を込めて④大きな音で（ジャズ部門を除きマイクは使われませんでしたのでマイクに近づいて音を大きくすることは不可能、複音の部門も同じ）⑤1個1個の音（1個1個の音符の立ち上がりと終わり方を考える）を大切に、⑥正面を向いて表情明るく堂々と、演奏したのが良かったのではないかと思います。

いずれにせよ、こういうことは自分一人の力だけではできないことで、今まで教えてくれたり（直接の指導者は当然ですが刺激を与えてくれた他のかたも含め）、支えてくれたり、注意してくれたり、励ましてくれたり、練習しやすい環境を与えてくれたりした多くのかたがたのお陰とあって感謝しております。

自分の実力は自分が知っており、決して「世界3位」というようなものではなく、たまたまいろいろ条件が揃ってそこに出場できた少数のかたの中で、たまたま3位をいただいたというだけで、これからは今まで以上に一生練習を重ねなければならないと思っております。

感謝の気持ちで、ご挨拶申し上げます。

吉村 則次

Rangliste / ranking list

Kategorie / category:

1b Solo chromatisch, Erwachsene (geboren vor 1985)
Solo chromatic, Adults (born before 1985)

World
HARMONICA
FESTIVAL 2001

Trossingen, 24.10. - 28.10. 2001

| Platz /
placo | Teilnehmer /
contestant | Wahlstück / own choice piece
Kriterium / criteria | | | | | Prädikat /
attribut | Punkte /
points |
|------------------|----------------------------|--|------|------|------|------|---------------------------|--------------------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| | | Punkte max. / points max. | | | | | | |
| | | 15 | 10 | 10 | 10 | 5 | | |
| 01 | Enlight Mair | 14,0 | 8,0 | 10,0 | 12,0 | 12,0 | sehr gut / very good | 38,0 |
| 02 | Kang Sang-Try | 10,7 | 8,3 | 8,0 | 7,3 | 10,7 | ausgezeichnet / excellent | 38,0 |
| 03 | Mitsugu Yoshimura | 11,0 | 7,0 | 8,0 | 7,3 | 10,7 | ausgezeichnet / excellent | 35,3 |
| 04 | Dariusz Hajewski | 8,3 | 7,3 | 12,7 | 12,7 | 13,0 | sehr gut / very good | 35,7 |
| 05 | Jacques Demie | 8,0 | 7,3 | 8,7 | 10,7 | 13,3 | sehr gut / very good | 30,0 |
| 06 | Martin Walchsfelder | 9,7 | 8,0 | 8,3 | 8,0 | 10,0 | sehr gut / very good | 29,0 |
| 07 | Ueli Mägler | 9,7 | 5,3 | 8,0 | 10,0 | 12,7 | sehr gut / very good | 28,3 |
| 08 | Alan Ho | 11,3 | 7,0 | 8,7 | 10,0 | 12,3 | sehr gut / very good | 28,7 |
| 09 | Robt Hart | 8,3 | 4,7 | 10,7 | 10,0 | 12,3 | gut / good | 28,0 |
| 10 | Walter Schwaier | 10,7 | 10,0 | 10,0 | 10,0 | 10,0 | gut / good | 26,0 |

Certificate

Noritsugu Yoshimura
was a successful contestant at
the World Harmonica Festival
in the category
Solo chromatic, Adults (born before 1985)
and was awarded
excellent
3rd prize
by the adjudicators

Yasuo Watanabe

Egbert Perenthaler

Sigmund Grov

新しいハーモニカ C D

吉村 則次

- ◎アドラー・トリオ/Harmonicadence/Israel
あつぎハーモニカ・サマー・フェスティバル会場で購入。
アドラートリオの新メンバー、ミハル (Michal) ・アドラー (ドロールアドラーの姪と聞く) が入った新しい C D である。アドラートリオは、このほか数種の C D を持ち込んで販売していたが、あの驚くべき迫力の生演奏を聞いたあと、飛ぶように売れていた。
- ◎HOTSHOTS/Harmonica Fever/USA NRC Digital
アメリカのコード・ハーモニカの第一人者であるアル・スミスとジュディ・スミス夫妻の多重録音のアンサンブルである。比較的ポピュラーな曲を楽しく演奏している。本人から直接メールオーダーして購入。
- ◎GAITA/Live Concert from Brazil
ブラジルには、ヘリングというハーモニカメーカーがあり、モーリチオ・アインホルン、クリチバ・オーケストラ等いいハーモニカ奏者がいることは知られていますが、このガイタというかたの演奏を聞くのは久しぶりである。他の国にはない、特徴のある編曲をしている。拍手も入っているライブ演奏なので、多重録音のようなトリックはない本当の演奏である。オランダの友人から寄贈を受けた。
- ◎TOOTS THIELEMANS/Toots Thielemans & Kenny Werner
Netherlands Universal 014 722-2 心斎橋 H M V にて購入
シールマンズの最新のアルバムで、ポピュラーな曲を比較的静かに演奏している。マイウェイ、スマイル、シェルブールの雨傘、枯葉、ディズニー・メロディ等

2001/10/24~28にドイツで開催された世界ハーモニカ大会に出席したので、そこで販売されていた多くの C D のうちの一部、気に入ったもののみを購入した。

- ◎FATA MORGANA/For Once In My Life/Netherlands STEMRA C8269
◎HENDRIK MEURKENS/When Lights are Low/Germany ACOUSTIC MUSIC 319.1190.2
◎THE ISRAELI HARMONICA TRIO/JEWISH SOUL MUSIC/Israel EAST CD 2090
◎TOOTS THIELEMANS/When I See You/Germany BELL MUSIC JETON JET60 012
◎RENE GIESSEN/King Of Harmonica/Germany AMPHION RECPRDS AMPH20118
◎WALTER BUCHINGER/Diatnic Mundharmonika Solo/Austria CSM9848-T11

アジア以外では非常に珍しい複音ハーモニカの音楽である。

大阪クロモニーがクロモニー・ジャパンに

平成13年10月1日より、大阪クロモニーバンドをクロモニー・ジャパンに名称変更いたしました。大阪クロモニーの名称は、各ハーモニカサークル支部として残る。

①大阪相川 ②旭 ③松原 ④和泉 ⑤灘

活動予定

平成14年

- | | |
|---------|---|
| 6月か7月 | 淡路島へ研修演奏旅行 |
| 8月か9月 | クロモニー・ジャパン 第5回定期演奏会 |
| 10月~12月 | 関西ハーモニカ連盟主催及び他主催によりハーモニカ祭り、出演参加 |
| 11月 | クロモニー・ジャパン主催 ハーモニカふれあいコンサート
旭区民ホール、終了後親睦会 (全員参加) |

生徒募集

独奏では、クロマチックハーモニカがメインです。

合奏では、クロマチック、複音ハーモニカ、コード、バス、ホルンハーモニカを使用

【クロモニー・ジャパン】大阪クロモニーハーモニカ各教室では、生徒さんを募集いたしております。

入会希望者又は、クロモニー・ジャパン主催によるハーモニカふれあいコンサートに参加希望者等、詳しいお問い合わせは、下記まで。

クロモニー・ジャパン・大阪クロモニーハーモニカ教室

主宰、代表 楠 陽児 TEL・FAX 06-6349-5573

マネージャー 出村 佳津男 TEL 06-6952-5700 FAX 06-6952-5583

第4回 関西ハーモニカ連盟 DTM同好会 開催案内

'01/1/05 大石 喜一郎

昨年末に発足したDTM(デスクトップミュージック; コンピュータを使った作曲・編曲等の音楽制作技法)の同好会も、前回(7/29)ご指導いただいたプロの作曲家から、個人のニーズに応じたアドバイスを受けられる道を付けて、一区切りとしました。第4回は、今夏以降の研鑽結果をお互いに披露して制作の苦心を語り合う場といたたく、次の通り開催いたします。作品発表をする方あるいは制作音楽や制作過程の苦労話を聞きたい方、どなたでも自由に御参加下さい。

と き;平成13年12月25日(火・クリスマス) 13:00より

ところ;〒530-0012 大阪市北区芝田 2-6-30 梅田清和ビル 4F

(株)ハモンドスズキ梅田センター 電話 06-6359-2636

JR大阪駅北側 場外馬券売場(Wins)北隣(1Fは洋服の青山)

参加費;発表する人=¥3,000.- 聞くだけの人=1,500.-

時間制限;音楽発表 5分以内、苦心談 5分以内

発表後 15分程度のディスカッションを予定しています。

発表準備;DTMデータのFDまたは音の入ったMDをご持参下さい。

DTMデータは Music time, YAMAHA XG works, Singer Song Writer,

Band in a Box 以外の場合はコンピュータソフトも御持参下さい。

(差し支えなければ、楽譜も提示して下さい)

会員異動のお知らせ('02/01月号)

2001/11/10 現在

会報第149号(2001年10月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです

組織部長

新入会

5名

| | 〒 | 住所 | 電話番号 | 入会月 |
|---|-------|-----------------------------|--------------|--------|
| 1 | 金谷 輝夫 | 589-0023 大阪狭山市大野台 6-15-5 | 072-366-8462 | '01/08 |
| 2 | 加納 克芳 | 657-0844 神戸市灘区都通 1-1-32 | 078-661-5644 | '01/10 |
| 3 | 森 五郎 | 619-0222 相楽郡木津町相楽川ノ尻 27-137 | 0774-73-2343 | '01/10 |
| 4 | 谷 正雄 | 658-0063 神戸市東灘区住吉山手 9-13-9 | 078-851-2954 | '01/10 |
| 5 | 中辻 直美 | 590-0958 堺市宿院町西 3-2-1-801 | 072-222-6305 | '01/11 |

'01/10以降の入会者は'02年度会員となります。

退会

0名

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 1 | | | | |
|---|--|--|--|--|

住所変更等

| | 〒 | 新住所等 | 電話番号 | 受付 |
|---|-------|----------------------------|--------------|-----------|
| 1 | 松尾 康子 | 651-2242 神戸市西区井吹台東町 3-21-1 | 078-992-8518 | '01/09/24 |
| 2 | 宮本 一男 | 657-0053 神戸市灘区六甲町 1-2-5 | 078-821-0609 | '01/09/26 |
| 3 | 饗庭 茂 | 604-0911 京都市中京区河原町通二条上る | 075-213-2521 | '01/10/22 |
| | | 格蘭ケル二条 304 | | |

現在の会員数は 265 名です。



HARMONICA HOTSHOTS



関西ハ一モ二力連盟